

食品安全情報（微生物） No.20 / 2025（2025.10.01）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. 米国のサイクロスポラ症患者に関する 2025 年のサーベイランス調査（2025 年 9 月 18 日付更新情報）

【[カナダ公衆衛生局（PHAC）](#)】

1. 公衆衛生通知：ドッグフードに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Oranienburg）感染アウトブレイク（2025 年 9 月 15 日付初発情報）
2. 公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Tennessee*、*S. Anatum*、*S. Bareilly* および *S. Senftenberg*）感染アウトブレイク（2025 年 9 月 24 日付更新情報）

【[Eurosurveillance](#)】

1. 複数国にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Umbilo）感染アウトブレイク：関係各国による合同調査から可能性の高い原因食品としてルッコラとベビーホウレンソウを特定（欧州、2024 年）

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

【[アイルランド食品安全局（FSAI）](#)】

1. アイルランドの食品衛生ランク付け方式（FHRS : Food Hygiene Rating Scheme）について意見を募集

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

米国のサイクロスポラ症患者に関する 2025 年のサーベイランス調査 (2025 年 9 月 18 日付更新情報)

Surveillance of Cyclosporiasis

Sept. 18, 2025

<https://www.cdc.gov/cyclosporiasis/php/surveillance/index.html>

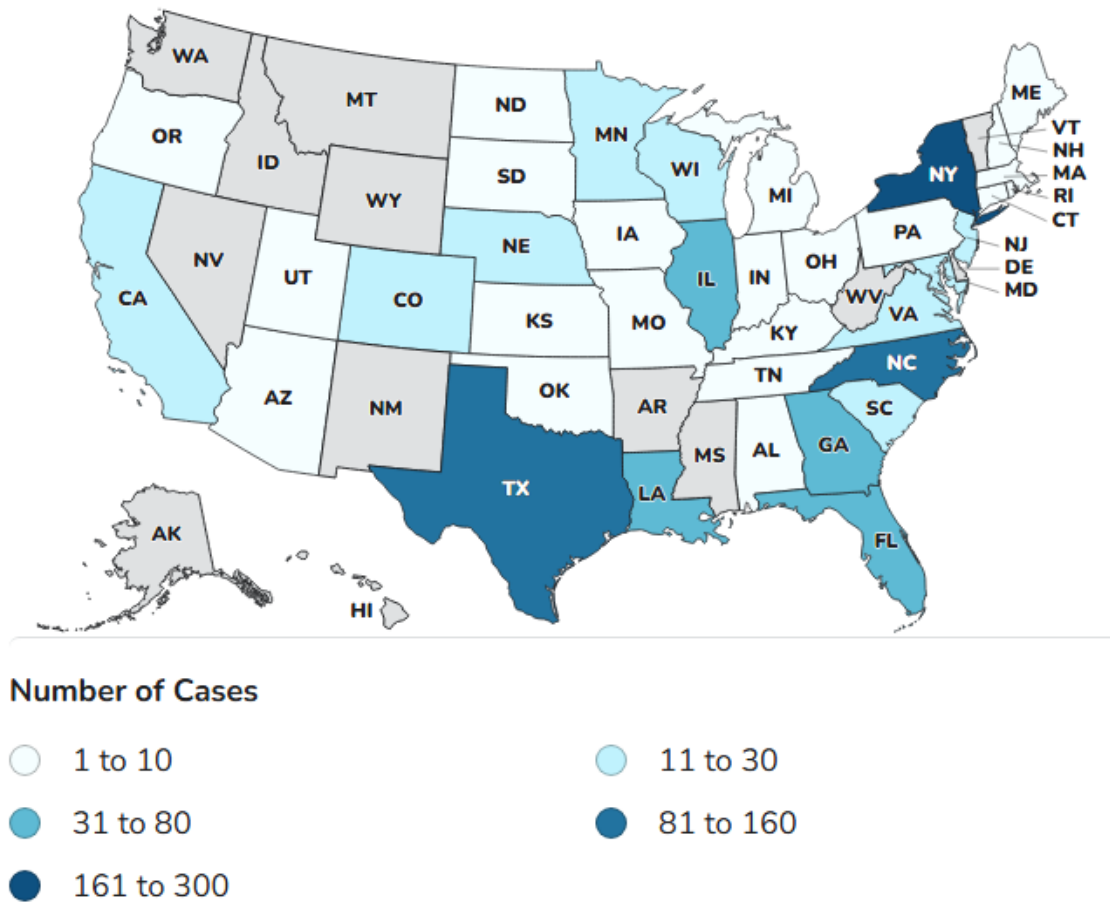
米国疾病予防管理センター (US CDC) は、共通の原因食品に関連したサイクロスポラ症アウトブレイクを探知するため、各州および連邦の公衆衛生・食品規制当局と協力し、年間を通じてサイクロスポラ症患者のモニタリングを行っている。

サイクロスポラ症の患者数は、通常は春季および夏季の数カ月間に増加する。2025 年は 5 月に患者が報告され始めた。

○ 国内感染サイクロスポラ症患者の発生状況

2025 年 9 月 16 日時点で、国内感染サイクロスポラ症患者計 990 人が 37 州から報告されている (図)。これらの患者は米国内で食品を喫食後に発症し、発症前 14 日間の国外旅行歴を報告していない。

図：2025 年 5 月 1 日以降に発症した国内感染サイクロスポラ症患者の居住州別患者数
(2025 年 9 月 16 日時点の計 990 人)



患者の年齢範囲は1～90歳、年齢中央値は49歳で、55%が女性である。発症日の中央値は2025年6月29日（範囲は5月1日～8月31日）である。情報が得られた患者990人のうち93人が入院した。死亡者は報告されていない。

地域・州の公衆衛生当局、CDC および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数の患者クラスターを調査している。可能性がある感染源を特定するための調査が進められている。現時点では、特定の食品とアウトブレイクとの関連は示されていない。

○ 国外感染サイクロスポラ症患者の発生状況

発症前14日間の国外旅行中に原因食品・水を飲食した患者が、2025年9月16日時点で計1,022人報告されている。患者の年齢範囲は1～90歳、年齢中央値は44歳で、60%が女性である。発症日の中央値は2025年7月3日（範囲は5月1日～8月23日）である。情報が得られた患者1,022人のうち37人が入院した。死亡者は報告されていない。

(食品安全情報(微生物) No.18/2025 (2025.09.03)、No.15/2025 (2025.07.23)、No.14/2025 (2025.07.09) US CDC 記事参照)

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<https://health.canada.ca/index-phac-aspc.php>

1. 公衆衛生通知: ドッグフードに関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Oranienburg) 感染アウトブレイク (2025 年 9 月 15 日付初発情報)

Public Health Notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to dog food and treats
September 15, 2025: Original Notice

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notice/2025/outbreak-salmonella-infections-dog-food-treats.html>

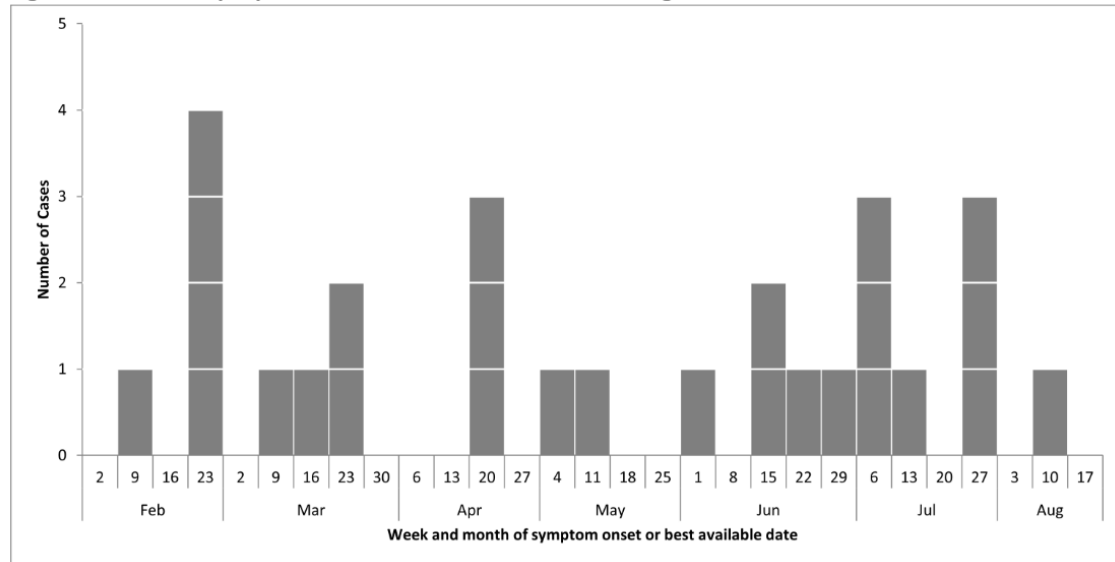
カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、ドッグフードに関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Oranienburg) 感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を発表した。
本アウトブレイクの調査は継続している。

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Oranienburg* 感染が確定した患者計 27 人が、アルバータ州 (13 人)、ブリティッシュ・コロンビア州 (12)、オンタリオ州 (1) およびノースウェスト準州 (1) から報告されている。患者の発症日は 2025 年 2 月中旬～8 月中旬 (図) で、患者の年齢範囲は 0～87 歳である。患者の 59% が女性である。患者 6 人が入院し、死亡者は報告されていない。

図：サルモネラ（*Salmonella* Oranienburg）感染アウトブレイクの発症週別患者数（2025年9月15日時点の計27人）

Figure 1: Number of people infected with *Salmonella* Oranienburg



患者の多くが、発症前に粒状・乾燥・フリーズドライなどのドッグフードと接触していたことを報告した。これらのドッグフードに共通する単一の供給元は特定されていない。

2. 公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Tennessee*、*S. Anatum*、*S. Bareilly* および *S. Senftenberg*）感染アウトブレイク（2025年9月24日付更新情報）

Public health notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to various brands of pistachios and pistachio-containing products

September 24, 2025: Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2025/outbreak-salmonella-infections-pistachios-related-products.html>

カナダ公衆衛生局（PHAC）は、様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Tennessee*、*S. Anatum*、*S. Bareilly* および *S. Senftenberg*）感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を更新した。

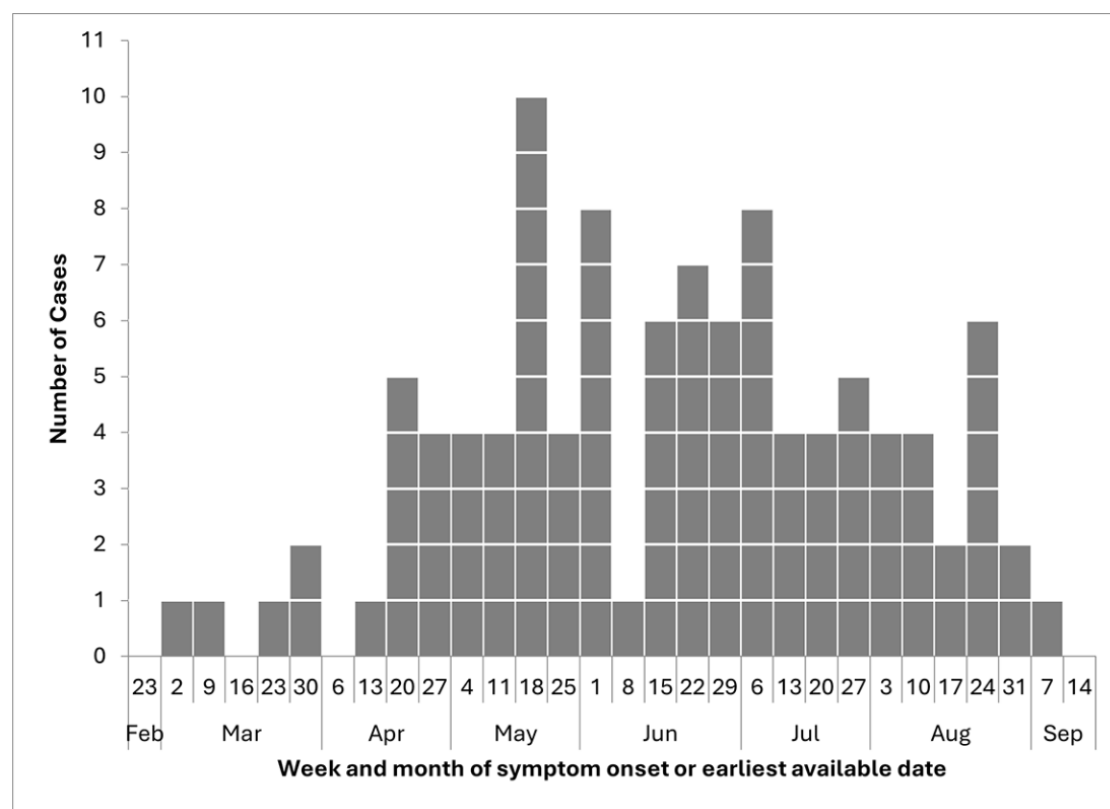
本アウトブレイクの調査は継続している。

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Havana*、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Tennessee*、*S. Anatum*、*S. Bareilly* または *S. Senftenberg* への感染が確定した患者が 6 州から計 105 人報告されている。州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (6 人)、アルバータ (4)、マニトバ (1)、オンタリオ (27)、ケベック (66) およびニューブランズウィック (1) である。患者の発症日は 2025 年 3 月上旬～9 月上旬である (図)。報告患者のうち 16 人が入院し死亡者はいない。患者の年齢範囲は 2～95 歳である。患者の 75% が女性である。

図：サルモネラ (*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka*、*S. Meleagridis*、*S. Tennessee*、*S. Anatum*、*S. Bareilly* および *S. Senftenberg*) 感染アウトブレイクの発症週別患者数 (2025 年 9 月 24 日時点の計 105 人)

Figure 1: Number of people infected with *Salmonella* Havana, *Salmonella* Mbandaka, *Salmonella* Meleagridis, *Salmonella* Tennessee, *Salmonella* Anatum, *Salmonella* Bareilly and *Salmonella* Senftenberg



患者の多くがピスタチオまたはピスタチオ入り食品 (ドバイスタイルのチョコレート、ペストリー製品など) の喫食を報告した。回収対象製品 (以下 Web ページ参照) のうち、ピスタチオ製品およびドバイスタイルのチョコレートの複数検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

<https://inspection.canada.ca/en/inspection-and-enforcement/food-safety-investigations/pistachio-recall-salmonella#a3>

調査は継続しているため、本アウトブレイクに関連した別の食品が新たに特定される可能性がある。

(食品安全情報(微生物) No.18/2025 (2025.09.03)、No.17/2025 (2025.08.20) PHAC 記事参照)

● Eurosurveillance

<https://www.eurosurveillance.org/>

複数国にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Umbilo) 感染アウトブレイク：関係各国による合同調査から可能性の高い原因食品としてルッコラとベビーホウレンソウを特定 (欧州、2024 年)

Multinational investigation of a *Salmonella* Umbilo outbreak reveals rocket salad and baby spinach as the likely infection vehicles, Europe, 2024

Eurosurveillance, Volume 29, Issue 46, 14/Nov/2024

<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11565652/pdf/eurosurv-29-46-1.pdf> (論文 PDF)

<https://www.eurosurveillance.org/content/10.2807/1560-7917.ES.2024.29.46.2400728>

欧州域内の数カ国において、主に 2024 年 7～9 月にかけて食品由来サルモネラ (*Salmonella* Umbilo) 感染アウトブレイクが発生し、患者約 200 人が報告されている。ドイツ、オーストリアおよびデンマークのアウトブレイク調査チームが協力し、疫学調査、微生物学的調査などを実施した結果、可能性の高い原因食品としてルッコラが迅速に特定された。*S. Umbilo* 株は、ルッコラ検体から検出された後、ベビーホウレンソウ検体からも検出された。これらの食品由来サルモネラ分離株と患者由来アウトブレイク株は遺伝学的に近縁であった。当該のルッコラおよびベビーホウレンソウはイタリアの 1 業者が供給したものであった。

本論文では、上記アウトブレイクの合同調査について報告する。調査により、イタリアの A 社が供給したルッコラが原因食品である可能性が高いことが迅速に特定され、微生物学的検査によって確認された。ベビーホウレンソウなど A 社製のその他の製品も原因食品に追加される可能性があった。2024 年 10 月に患者数の減少が見られたものの、本論文の

執筆時点では一定数の *S. Umbilo* 感染患者（確定のためのゲノム解析を実施中）の検出がまだ続いている。

○ アウトブレイクの探知および早期の疫学調査

2024 年 8 月 14 日、ドイツの国立公衆衛生機関であるロベルト・コッホ研究所（RKI）は、*S. Umbilo* 臨床分離株（抗原構造は 28:z10:e,n,x）の検出件数およびこれと一致する患者報告数の異常な増加を認識した。「サルモネラおよびその他の腸管病原菌に関するドイツの国立リファレンスセンター（NRC：national reference centre）」に登録された *S. Umbilo* 株の数は、2023 年までの 5 年間の中央値が年間 3 株であったのに対し、2024 年は 7 月からこの時点までで 9 株であった。ゲノム解析ソフトウェア「Ridom SeqSphere+」により Enterobase のコアゲノム多座塩基配列タイピング（cgMLST）を行った結果、これらの 9 株が遺伝学的に近縁（アレルの差異（AD）が 0～3 アレル）であることが明らかになった。ドイツではこれに続いて患者報告数が増加した。2024 年の第 31～35 週（7 月 29 日～9 月 1 日）の発症週別患者数は 16～21 人であった。患者が比較的短期間内にドイツの全国各地で発生していることから、本アウトブレイクが 2024 年 7 月以降に全国で流通した汚染食品により発生した可能性があることが示唆された。

患者の大多数が 2024 年の第 31～35 週（7 月末～8 月末）に発症していた。患者の発症から特定までには時間を要するため、新規患者が引き続き検知される可能性がある。

ドイツは、2024 年 8 月 19 日に EpiPulse（欧州疾病予防管理センター（ECDC）が運営する「欧州感染症サーベイランスポータルサイト」）を介して、また 9 月 27 日には EWRS（欧州委員会（EC）の「欧州早期警告・対応システム」）を介して、*S. Umbilo* 感染患者数の異常な増加に関する警報を他国に向けて発出した。ドイツによる EpiPulse 経由の警報を受けて、最初にデンマークおよびオーストリアが *S. Umbilo* 感染患者を報告し、2024 年 10 月 18 日までに両国が特定した患者はそれぞれ 22 人および 19 人であった。また、欧州のその他の 6 カ国からも EpiPulse を介して各 1～20 人の *S. Umbilo* 感染患者が報告された。

ドイツにおいて、本アウトブレイクに合わせて構成された標準質問票を用いて RKI が患者への予備的聞き取り調査を行った。この調査の結果から、「*S. Umbilo* への感染」と「発症前 3 日間のルッコラの喫食またはその他のサラダ用葉物野菜の喫食」との関連が示唆された。この情報も EpiPulse を介して各国に共有された。

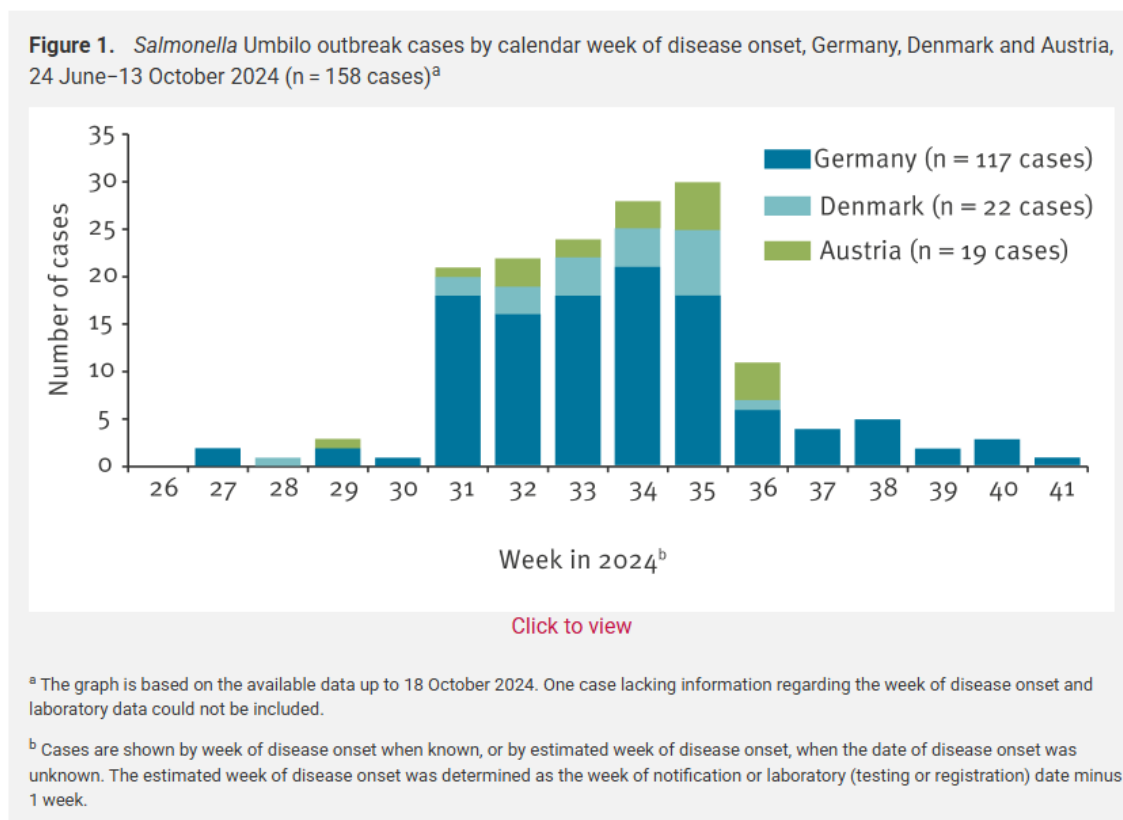
○ ドイツ、デンマークおよびオーストリアによる合同アウトブレイク調査

ドイツ、デンマークおよびオーストリアの公衆衛生機関は、患者への聞き取り調査およびその他の調査の結果について迅速に情報共有を行い、緊密に協力しながら本アウトブレイク調査を進めた。共通の症例定義が適用され、確定患者は、「発症日または報告日／検査日（試験日／登録日）が 2024 年 7 月 1 日以降であり、cgMLST によりアウトブレイク

参照株との差異が 5 アレル以内のアウトブレイククラスターに分類される *S. Umbilo* 株と一致する株に感染した患者」と定義された。また、高度疑い患者は、「発症日（または報告日／検査日）が 2024 年 7 月 1 日以降であり、通常のサーベイランスシステムにおいて、一致する株がない *S. Umbilo* 株への感染患者として報告された患者、または塩基配列解析がまだ行われていなかった株と一致する *S. Umbilo* 株への感染が報告された患者」と定義された。

2024 年 10 月 18 日までに、ドイツ、デンマークおよびオーストリアの 3 カ国だけで計 159 人（それぞれ 118 人、22 人および 19 人）の患者が報告され、このうち 149 人が確定患者であった。初発患者の発症日は 2024 年 7 月 1 日で、直近の患者の発症日は 2024 年 10 月 4 日である（図 1）。患者の年齢中央値は 37 歳（年齢範囲は 1～91 歳、四分位範囲（IQR）は 26～56 歳）であった。男女別の患者数は同等（男性 80 人、女性 79 人）であった。入院に関する情報が全て得られた患者 129 人のうち、サルモネラ症により最低 12 時間入院（デンマーク）または最低 1 泊入院（ドイツ、オーストリア）した患者は計 36 人（28%）であった。2024 年 10 月 18 日までに、確定患者 1 人がサルモネラ症により死亡したことが報告された。

図 1：サルモネラ（*Salmonella* Umbilo）感染アウトブレイクの発症週別患者数（ドイツ、デンマークおよびオーストリア、2024 年 6 月 24 日～10 月 13 日、n=158^a）



(^a 2024 年 10 月 18 日までに得られた情報にもとづき作成。発症週に関する情報も検査データも得られなかった患者 1 人は除外。

^b 発症日が明らかな患者については発症週別に、発症日が不明な患者については推定発症週別に集計。推定発症週は報告日または検査日（試験日または登録日）の前週とする。）

ドイツでは、患者 42 人に聞き取り調査が実施された。37 人が発症前 3 日間にサラダ用葉物野菜を喫食したことを報告し、このうち 24 人がルッコラの喫食を報告した（表）。

表：サルモネラ（*Salmonella* Umbilo）感染アウトブレイク患者の発症前^aの喫食歴（ルッコラ／その他のサラダ用葉物野菜）に関する予備的聞き取り調査の結果（ドイツ、デンマークおよびオーストリア、2024 年、n=159）

TABLE

Results of exploratory *Salmonella* Umbilo case interviews in Germany, Denmark and Austria regarding the consumption (or likely consumption) of rocket salad and/or another leafy green salad in the days^a before disease onset, 2024 (n=159 cases)

Country	Number of reported cases	Number of interviewed cases	Proportion of cases who ate rocket salad	%	Proportion of cases who ate rocket salad or another type of leafy green salad	%
DE	118	42	24/42	NA	37/42	NA
DK	22	14	8/14	NA	12/14	NA
AT	19	18	12/18	NA	18/18	NA
Overall	159	74	44/74	59	67/74	91

AT: Austria; DE: Germany; DK: Denmark; NA: not applicable, as percentages based on small numbers would not be meaningful.

^a In DE, food history was queried for the 3 days before disease onset, in AT and DK, for the 7 days before disease onset.

(AT：オーストリア、DE：ドイツ、DK：デンマーク、NA：適用せず(少ない患者数における百分率値は無意味であるため)

^a ドイツでは発症前 3 日間の喫食歴、オーストリアおよびデンマークでは発症前 7 日間の喫食歴が対象)

オーストリアの調査では、聞き取りが行われた患者 18 人全員が、発症前 7 日間にサラダ用葉物野菜を喫食したことを報告し、このうち 12 人がルッコラを報告した（表）。この聞き取り調査では、患者がルッコラを喫食した場所として数カ所のカフェおよび食品事業者も特定された。カフェ X で 2024 年 8 月 15 日に提供されたルッコラについて、食品供給チェーンの各段階に沿って後ろ向き追跡調査を行った結果、当該ルッコラはイタリアの産地 A 由来で A 社から供給されたものであったことが判明した。

デンマークの調査では、聞き取りが行われた患者 14 人のうち 12 人が、発症前 7 日間に様々な種類のサラダ用葉物野菜を喫食していたことを報告した。この 14 人のうち、8 人がルッコラ、10 人がルッコラまたはベビーハウレンソウを喫食したことを報告した。消費者の食品購入履歴データなどを調査した結果、デンマークの一部の患者は発症前に、イタリアの A 社から供給されたルッコラまたはベビーハウレンソウを購入していた可能性が高いことが示された。

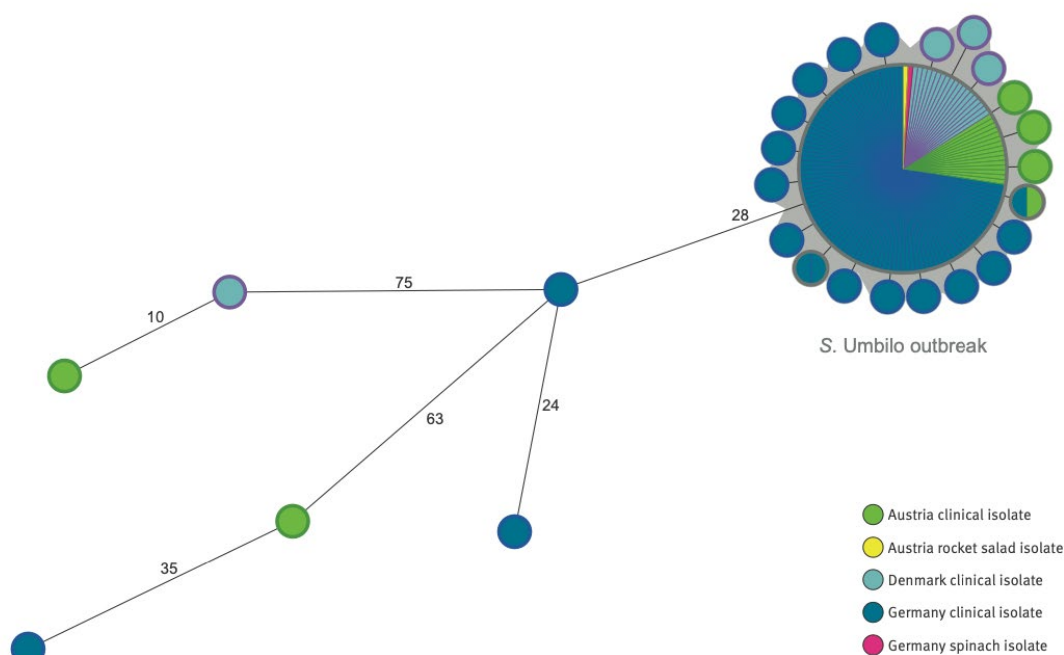
○ 臨床分離株および食品由来分離株に関する微生物学的調査

ドイツ、オーストリアおよびデンマークで採取された臨床分離株は遺伝学的に相互に近縁（差異は4アレル以内）であり、参照株との差異は2アレル以内であった（図2）。アウトブレイク参照株との差異が5アレル以上の *S. Umbilo* 株は本アウトブレイクとは関連がないと判断された。アウトブレイク参照株の塩基配列「24-05800」は、Enterobaseに登録され（登録番号はID RKI_24-05800、EnterobaseのcgMLST法による階層クラスター分析でHC5_93993に分類）、また欧州ヌクレオチドアーカイブ（ENA：European Nucleotide Archive）のBioProject（プロジェクト番号はPRJEB67705）にも登録された（登録番号はERR13934259）。

図2：サルモネラ（*Salmonella* Umbilo）感染アウトブレイクの臨床分離株（n=155）および食品由来分離株（n=3）の遺伝子配列にもとづく最小全域木（ドイツ、オーストリアおよびデンマーク、2024年、n=158）

FIGURE 2

Minimum spanning tree based on genetic sequences of clinical (n=155) and food (n=3) *Salmonella* Umbilo outbreak isolates, Germany, Austria and Denmark, 2024 (n=158 isolates)



cgMLST: core-genome MLST; MLST: multilocus sequence typing; MST: minimum spanning tree

Ridom SeqSphere+ MST for 158 samples based on 3,002 columns, pairwise ignoring missing values, logarithmic scale. Distance is based on columns from *S. enterica* cgMLST Enterobase (3,002), *S. enterica* MLST (7). MST cluster threshold is five allelic differences [14,15] and affiliation of isolates to the outbreak cluster is indicated by grey shading in the MST (149 clinical isolates, 3 food isolates). Allelic distances to the outbreak reference strain, which are higher than five, are indicated on the branches of the MST.

cgMLST：コアゲノム多座塩基配列タイピング

MLST：多座塩基配列タイピング

MST：最小全域木（minimum spanning tree）

(3,002 遺伝子座、欠測値を無視した対比較、対数スケールにもとづく Ridom SeqShere+ ソフトウェアによる 158 検体の最小全域木。差異は Enterobase の *S. enterica* cgMLST 法 (3,002 遺伝子座が対象) および *S. enterica* MLST 法 (7 遺伝子座が対象) にもとづく。MST クラスターの閾値は差異が 5 アレルで、灰色の塗りつぶし部分はアウトブレイククラスターに分類された株 (臨床分離株 149 株、食品由来株 3 株)。アウトブレイク参照株との差異が 5 アレルを超えた場合は円を結ぶ線上にアレル数の差異を表示。)

オーストリアでは、患者への聞き取り調査で報告されたカフェおよび食品事業者から、食品安全当局がルッコラ 9 検体を採取した。その結果、イタリアの産地 A 由来で A 社が供給したルッコラ 2 検体から *S. Umbilo* が検出された (EN ISO 6579-1:2017/A1:2020 の試験法に従い検査)。オーストリア当局は 2024 年 9 月 20 日、「食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF)」を介して各国にこの情報を発信した (RASFF 通知「2024.7033」)。続いて行われた全ゲノムシーケンシング (WGS) 法による塩基配列解析から、これらのルッコラ由来分離株がアウトブレイククラスターに属する (参照株との差異が 0 アレル) ことが確認された。当該ルッコラ由来分離株の塩基配列は、米国国立生物工学情報センター (NCBI) の BioProject (プロジェクト番号は PRJNA1182708) に登録された (BioSample 登録番号は SAMN44603168)。

ドイツでは、通常の人獣共通感染症モニタリングにおいて 2024 年 8 月 28 日にスーパーマーケットで採取された有機栽培のベビーハウレンソウ 1 検体からサルモネラが検出された。ベビーハウレンソウからの当該株の検出には、「SureTect™ *Salmonella* Species PCR Assay」キット (カタログ番号 A56841、米国 Thermo Fisher Scientific 社) にもとづくサルモネラ PCR の前段階スクリーニングの一環として、ノボビオシン 12 mg/L を含む緩衝ペプトン水を使用し、「EN ISO 6579-1:2017/A1:2020」試験法の一次増菌を行った。検出された分離株はその後、国立サルモネラリファレンス検査機関 (NRL-*Salmonella*) に送付されて検査が行われ、*S. Umbilo* 株であることが判明した。この情報は RASFF を介して各国の食品安全当局に共有された (RASFF 通知「2024.7478」、2024 年 10 月 10 日)。続いてゲノム解析が行われ、ベビーハウレンソウ検体由来のこの *S. Umbilo* 株が本アウトブレイクの WGS クラスターに属することが確認された (ルッコラ由来株およびアウトブレイク参照株との差異が 0 アレル)。このベビーハウレンソウ由来分離株の塩基配列は、NCBI の BioProject (プロジェクト番号は PRJNA937468) に登録された (BioSample 登録番号は SAMN44599062)。この有機栽培のベビーハウレンソウもイタリアの A 社が供給したものであった。デンマークのアウトブレイク調査チームは、疫学調査の結果から、可能性がある原因食品の 1 つとして既にベビーハウレンソウにも疑いを持っていた。

その他にも可能性として考えられる感染源を調査するため、2020~2024 年にドイツの NRL-*Salmonella* において食品・飼料・動物・環境由来検体から分離された計 18 株の *S. Umbilo* 株について塩基配列が解析されたが、本アウトブレイクの参照株との遺伝学的近

縁関係が認められる株はなかった（ChewieSnake パイプラインを用いた cgMLST 解析ワークフローによる相互の差異がいずれも 30 アレルを超過）。

○ 各国で実施されたアウトブレイク対応

2024 年 9 月 20 日に RASFF を介してオーストリアから警報が発出された（RASFF 通知「2024.7033」）ことを受け、イタリアの食品安全当局は、イタリアの産地 A の一部の生産業者由来のルッコラとそれらを使用したすべての製品の流通を停止し、これらの生産業者から出荷されたルッコラの回収を命じるための措置を講じた。デンマークではプレスリリースが発表され、本アウトブレイクに関する一般消費者向けの情報が提供されるとともに、野菜類は喫食前に必ず洗浄すべきであるとの助言が再度行われた。オーストリアでの本アウトブレイクへの対応としては、複数の卸売業者が講じた迅速な措置などが挙げられ、これらの卸売業者はイタリアの A 社が供給したルッコラの流通を全て停止した上で、供給業者を全面的に切り替えた。検査機関で陽性結果が確認された時点で既に、当該ルッコラのバッチは市場では入手不可能な状態であったが、汚染されたルッコラによる健康リスクに関する情報が消費者向けに発信された。ドイツでは、2024 年 9 月 26 日に RKI の疫学情報誌「Epidemiological Bulletin」に本アウトブレイクに関する情報が発表された（以下 Web ページ参照）。この情報は様々なメディアで報道された。

https://www.rki.de/DE/Aktuelles/Publikationen/Epidemiologisches-Bulletin/2024/39_24.pdf（ドイツ語のみ）

● 欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety）

https://commission.europa.eu/about/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

https://food.ec.europa.eu/food-safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2025 年 9 月 9～18 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

デンマーク産マス卵のリステリア (*L. monocytogenes*)、スペイン産ベーコンのリステリア (*L. monocytogenes*)、ノルウェー産 (オランダ経由) サーモン切り身のリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産魚製品のリステリア (*L. monocytogenes*)、ドイツ産サラミの志賀毒素産生性大腸菌、デンマーク産魚すり身製品のリステリア (*L. monocytogenes*)、ベルギー産ひき肉の志賀毒素産生性大腸菌 (*stx+*、*eae+*)、タイ産 (スウェーデン経由) イス用餌のサルモネラ (*S. Ordonez*)、活イガイ (スペイン産原材料使用、イタリアで浄化) の大腸菌 (490 CFU/100g) とサルモネラ、スペイン産乾燥ローズマリーのサルモネラ属菌、フランス産の生乳チーズのリステリア (*L. monocytogenes*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

エクアドル産冷凍生エビのコレラ菌 (非 O1、非 O139、*stn/sto+*)、オーストリア産冷蔵チキンシュニッツェルのサルモネラ属菌、ポーランド産の生鮮ブロイラー脚肉のサルモネラ (*S. Infantis* (1/5 検体陽性))、ポーランド産 (ドイツ経由) 冷蔵スモークトラウト (スライス) のリステリア (*L. monocytogenes*)、オランダ産鶏肉のサルモネラ属菌、ハンガリー産鶏肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、ウクライナ産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、リトアニア産牛肉 (ハンバーガー用) の志賀毒素産生性大腸菌 (*stx2*)、米国産アーモンドカーネルのサルモネラ属菌、アイルランド産ハム・チーズ入り鶏肉製品のサルモネラ (*S. Virchow*) など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

南アフリカ共和国産魚粉のサルモネラ、ポーランド産冷凍鴨むね肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*、*S. Typhimurium*)、オランダ産マリネ液漬け串刺しエビ (加熱用) のコレラ菌、アイルランド産レタスミックスのリステリア (*L. monocytogenes*)、ドイツ産菜種搾油粕のサルモネラ (*S. Kedougou*) など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ウガンダ産ゴマ種子のサルモネラ属菌など。

● アイルランド食品安全局（FSAI: Food Safety Authority of Ireland）

<https://www.fsai.ie/>

アイルランドの食品衛生ランク付け方式（FHRs : Food Hygiene Rating Scheme）について意見を募集

Consultation opens on national food hygiene rating scheme

26 MAY 2025

<https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/consultation-opens-on-national-food-hygiene-rating>

アイルランド食品安全局（FSAI）の食品安全諮問委員会（FSCC）は、アイルランドの食品衛生ランク付け方式（FHRs : Food Hygiene Rating Scheme）について、国内の消費者および食品事業者から意見を募集するためのパブリック・コンサルテーションを行うことを発表した。FHRs はいくつかの国で導入されており、公的な食品安全検査にもとづいて評価が行われた食品事業者の清潔度および食品安全性の指標となる情報を消費者に提供している。FSAI は今回、この FHRs についてインターネット経由で意見を提出するようアイルランドの消費者および食品事業者に呼びかけている。募集期間は 2025 年 5 月 26 日～6 月 23 日である。

FHRs の導入例としては、北アイルランド・イングランド・ウェールズにおける「Socres on Doors（店頭でのランク付け結果の表示）」、デンマーク・フランスにおけるスマイルマークの掲示のほか、米国の一部の州においても実施されている。これらの制度の一環として、食品事業者の店舗内の窓やホームページ上で数字・文字・記号などにより食品安全検査の結果が公表されることが一般的であり、その目的は、フードチェーンの透明性の向上、消費者に意思決定の判断材料を提供すること、および食品業界全体の衛生水準向上の促進である。これらの情報は、消費者が食品の喫食・購入場所を選択する際の参考となり、また食品事業者にとっては高水準の食品安全性を確保するための推進力となる。

食品安全諮問委員会は、このパブリック・コンサルテーションの結果から、アイルランドの FHRs に関する消費者および食品事業者の見解をより正確に把握することができる。食品安全諮問委員会は、FHRs が消費者の意思決定にどのような影響を及ぼす可能性があるか、またアイルランド国内のレストラン・カフェ・持ち帰り料理店・ホテル・スーパーマーケット・小売店などの食品事業者にどのような影響を与え得るかについて調査を行う予定である。意見の提出はすべて無記名制であり、提出者には、今後予定されているフォーカスグループや聞き取り調査への参加意思を示す機会が設けられる。

提出意見から得られる情報は、国の政策に関する提言が今後作成される際に重要となる。このため、食品安全諮問委員会の Knox 議長は、本パブリック・コンサルテーションへの参加を強く求めるとともに、消費者および食品事業者の関与が重要であることを強調した。

本コンサルテーションで収集された情報は、2026 年初めに完成見込みの包括的評価報告書に収載される予定である。これらの知見は、各地域で国の食品安全政策に対する責任を担う保健当局に対し、FSAI がエビデンスにもとづく提言を作成する際に役立つ。

このパブリック・コンサルテーションは、食品事業者を対象とした衛生ランク付け方式に関連するエビデンスを評価するため、2025～2029 年の 5 カ年戦略「Strategy 2025–2029」にもとづいて FSAI が実施するものである。

本パブリック・コンサルテーションに関する詳細情報は以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.fsai.ie/getmedia/f24d385d-78f3-4d07-8f7b-5a05d9f53776/fhrs-consultation-info.pdf> (PDF)

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室